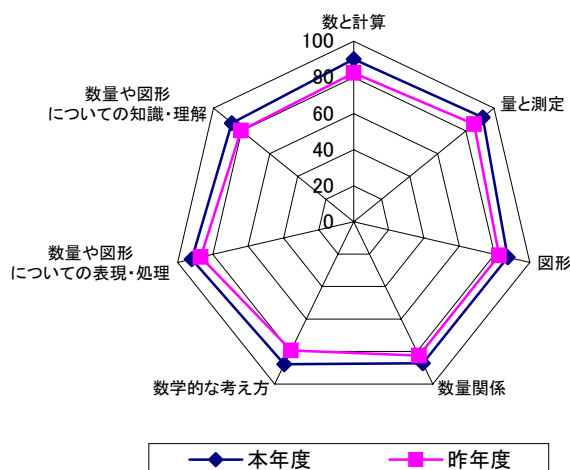


# 宇都宮市立豊郷南小学校第6学年【算数】領域別／観点別正答率

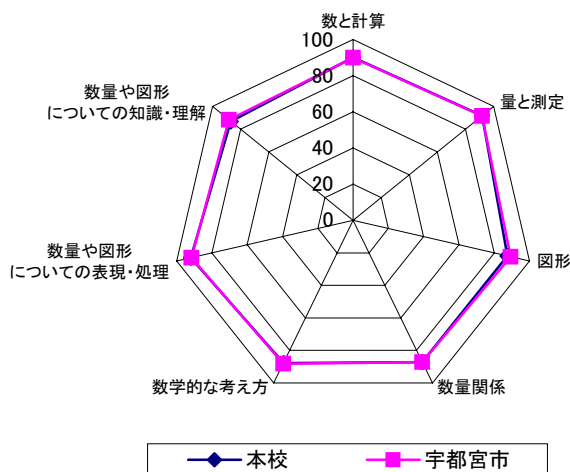
## ★本校の本年度と昨年度の状況

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	数と計算	90.1	82.4
	量と測定	91.8	85.9
	図形	87.6	82.6
	数量関係	87.2	82.4
観点別	数学的な考え方	87.8	79.3
	数量や図形についての表現・処理	92.1	87.0
	数量や図形についての知識・理解	86.9	80.4



## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	90.1	90.0
	量と測定	91.8	91.6
	図形	87.6	89.4
	数量関係	87.2	87.2
観点別	数学的な考え方	87.8	88.1
	数量や図形についての表現・処理	92.1	91.8
	数量や図形についての知識・理解	86.9	88.2



## ★指導の工夫と改善

領域	昨年度の状況と本年度の傾向	今後の指導の重点
数と計算 (90.1%)	昨年度の正答率82.4%を上回り90.1%を記録。市平均ともほぼ同数。分数の単純な乗除法については十分に理解を示しているが、約数と倍数、約分と通分、文章問題については80%台と復習を必要とする。	分数の基本的な計算問題については十分に理解を示しているため、さらに理解を確実にするために練習を繰り返していきたい。約分と通分、約数と倍数についてはそれぞれの意味とそれらを使う場面を想定した学習によって理解を深めたい。
量と測定 (91.8%)	昨年度の正答率85.9%より上がって91.8%の正答率であった。体積を求める問題については単純な図形については公式を利用して求めることが容易だが、複雑な図形になるとその解き方に差異が出てしまう。	複雑な図形については絵や図を用いて解き方を考えさせる。特に単純な図形に分解させる方法とそれに伴う計算方法については、プリント学習などで繰り返し練習させ、定着を図りたい。
図形 (87.6%)	昨年正答率82.6%を上回る87.6%の正答率を獲得した。しかし、市の平均と比較すると約2ほど下回っている。それぞれに対応する辺や点、展開図等、形を空間として捉える力がやや弱いように見える。	立体模型や展開図を実際に用いて基本的な形を把握させ、立体から平面への展開やその逆に、平面から立体への展開などを実体験として学習させ、理解を深めたい。
数量関係 (87.2%)	昨年度正答率82.4%を約5パーセント上回る87.2%を記録した。平均を求める問題については多くの児童が正しい理解を示しているが、平均から全体を予想する問題では若干名その数式を予測できない児童もいる。	平均に関する学習においては、平均を求める公式についての理解はもちろん、その公式を問題によってさまざまに利用していく方法をドリルやプリント学習を使って身につけさせたい。